

歴史能力検定 第44回 (2025年)

3級—日本史 解答・解説

1—③	2—②	3—②	4—③	5—①
6—①	7—①	8—①	9—④	10—③
11—④	12—④	13—②	14—④	15—③
16—④	17—①	18—②	19—②	20—③
21—①	22—②	23—④	24—③	25—③
26—④	27—③	28—②	29—③	30—①
31—①	32—④	33—①	34—③	35—②
36—②	37—②	38—③	39—④	40—①
41—④	42—①	43—②	44—②	45—④
46—④	47—①	48—③	49—②	50—②

1

- ③「魏志」倭人伝には3世紀の倭の様子が記されている。
- ②埴輪は古墳時代において、古墳の墳丘に並べられた。
- ①青森県の三内丸山遺跡は弥生時代ではなく縄文時代の遺跡。③抜歯がおこなわれるようになったのは弥生時代ではなく縄文時代。④仏教が伝わったのは古墳時代。神仏習合が本格化したのは奈良時代以降。
- 岩戸山古墳は福岡県の古墳で磐井の墓とされている。応神天皇陵古墳とも呼ばれる誉田御廟山古墳は、大阪府の古墳で、日本第2位の規模の古墳とされている。
- ①地方豪族は国造に任じられた。受領は平安時代における、現地に赴任する国司の最上席者。
- ①『宋書』倭国伝には、古墳時代の中期にあたる5世紀に倭の五王が使者を派遣したことが記されている。②小野妹子らが派遣されたのは推古天皇の時代。③663年の白村江の戦いの影響で対外的な緊張が高まったのは飛鳥時代。④遣唐使が派遣されるようになったのは飛鳥時代の630年。
- ①九州地方は七道のうち西海道にあたる。
- ①8世紀につくられた、防人歌などが収録されているのは『万葉集』。②『吾妻鏡』と④『新古今和歌集』は鎌倉時代、③『古今和歌集』は10世紀初頭につくられた。
- ④「平安時代初期の9世紀初頭に藤原薬子らが滅ぼされた政変」は平城太上天皇の変(薬子の変)。①安和の変は969年、②応天門の変は866年、③橘奈良麻呂の変は757年。
- ③10世紀前半に反乱をおこしたのは平将門。

2

- ④「12世紀前半」には院政がおこなわれていた。①摂関政治の全盛期は11世紀。②南朝・北朝の天皇にわかれていたのは14世紀。③執権政治がおこなわれていたのは13世紀。
- ④鎌倉幕府の初代侍所の別当は和田義盛。①②③はいずれも室町時代の守護。
- ②「高野市」「七日市」などの市が確認できるため、「活発な経済活動が展開されていた」は正しい。①絵図は13世紀末のものであるのに対し、永楽通宝などの明銭が流通するようになったのは、日明貿易が開始された15世紀以降。③「農書」は江戸時代に広まった。④村方三役による農村の自治は江戸時代に見られた。
- ④後三年合戦は1083～87年。①保元の乱は1156年、②平治の乱は1159年、③承久の乱は1221年。
- ③新田義貞は後醍醐天皇のもとで活躍した。
- 平氏が滅ぼされた壇の浦の戦いがおこったのは④。①は石橋山の戦い、②は倶利伽羅峠(砺波山)の戦い、③は讃岐屋島の戦いがおこった場所。
- ①管領の細川氏によって、将軍が廃される事件は1493年におこった明応の政変。②北条氏一門が鎮西探題として博多におくられたのは13世紀末。③南北朝の合体が実現したのは14世紀末。④源頼朝が征夷大將軍に任じられたのは12世紀末。
- ②「1275年」の前年の1274年におこったのは文永の役。①文祿の役は1592～93年、③嘉吉の変は1441年、④鹿ヶ谷

の陰謀は1177年。

19. ①御成敗式目は1232年に北条泰時が定めた。③日明貿易は足利義満が1404年に開始した。④銀閣は1489年に足利義政が建てた。
20. ③設問に用いたのは雪舟の「秋冬山水図（冬景）」。

3

21. ①16世紀後半には倭寇の活動が活発化していたが、1588年の海賊取締令によってその活動は収束した。②清からイギリスに対して香港が割譲されたのは19世紀前半。③シャクシャインが蜂起したのは17世紀後半。④琉球王国が薩摩藩の実質的な支配下におかれたのは17世紀初頭。
22. ①半濟令は室町幕府によって出された。③上知令は1843年に出された。④防穀令は1889年に朝鮮で出された。
23. ④1640年代の寛永の飢饉を背景に田畑永代売買の禁止令が出された。①富士山が噴火したのは1707年、②安政の大地震が発生したのは1850年代、③天明の飢饉がおこったのは1780年代。
24. ③「中世の日朝貿易の主要な輸入品」は木綿。
25. Ⅱ「末期養子の禁止が緩和された」のは4代将軍徳川家綱の時代の1650年代。Ⅰ「徳川綱吉によって、生類憐みの令が出された」のは5代将軍徳川綱吉の時代の1680年代以降。Ⅲ「正徳金銀が鑄造された」のは7代将軍徳川家継の時代の1714年。
26. ④1722年に幕領で定免法が施行されたのは、8代将軍徳川吉宗の時代。
27. ③安藤昌益の『自然真営道』は、1753年に刊行された。
①友禅染を始めたのは宮崎友禅。宮崎友禅が活躍したのは17世紀後半を中心とする元禄文化期。俵屋宗達が活躍したのは17世紀前半の寛永文化期。②緒方洪庵は19世紀前半に適々斎塾（適塾）を開いた。鳴滝塾を開いたのはシーボルト。④19世紀前半には平田篤胤の復古神道が盛んになった。山崎闇斎は垂加神道を説いた。
28. ①小石川養生所は1722年、③天文方は1684年、④蚕書和解御用は1811年に設置された。
29. ③異国船打払令（無二念打払令）が出されたのは1825年。
①禁中並公家諸法度は1615年、②バテレン追放令は1587年、④海舶互市新例（長崎新令）は1715年に出された。
30. ①報徳仕法と呼ばれる事業法を広めたのは、二宮尊徳。

4

31. ①は新潟水俣病が発生した場所。②は足尾、③は四日市、④は別子。
32. ④同志社英学校を創立したのは新島襄。
33. Ⅰ学制が公布されたのは1872年。Ⅱ大学令が公布されたのは1918年。Ⅲ六・三・三・四制の学校制度は、教育基本法や学校教育法にもとづいて1947年に開始された。
34. 青鞞社は平塚らいてう（明）らによって1911年に結成。『平民新聞』は幸徳秋水らによって1903年に創刊。

35. ②「鹿鳴館に象徴される欧化政策を推進した」のは青木周蔵ではなく井上馨。

36. ①義和団戦争は19世紀末に中国でおこった。日清戦争の契機は1894年におこった甲午農民戦争（東学の乱）。③日本海海戦は、日露戦争において、ロシアのバルチック艦隊を壊滅させた海戦。④日清戦争の講和条約である下関条約では、日本は2億両の賠償金を獲得した。

37. 『破戒』は島崎藤村の作品。田山花袋の代表作として『蒲団』があげられる。

38. ①天皇機関説を唱えたのは美濃部達吉。②民本主義を唱えたのは吉野作造。④協調外交を展開したのは幣原喜重郎。

39. ④財閥解体は第二次世界大戦後、民主化政策の一環として実施された。

40. ①首相として1960年に日米相互協力及び安全保障条約（新安保条約）の締結を実現したのは岸信介。

5

41. 戊辰戦争は1868～69年。板垣退助は明治六年の政変で下野した。

42. ②北里柴三郎は細菌学者、③新渡戸稲造は思想家・教育家、④岩倉具視は公家・政治家で、いずれも紙幣の肖像になったことのある人物。

43. ①「国立銀行条例が制定された」のは1872年。③「金本位制が確立」したのは1897年。④地租が地価の2.5%に引き下げられたのは1877年。

44. 関東大震災は1923年に発生した。①米騒動は1918年におこった。③日比谷焼打ち事件がおこったのは1905年。④二・一ゼネストは第二次世界大戦後の1947年に計画されたが、GHQの命令によって中止された。

45. ④五・一五事件は、第2次若槻礼次郎内閣が総辞職した後に組織された犬養毅内閣時の1932年に発生した。この事件で犬養毅首相が殺害され、犬養内閣は総辞職した。

46. ④1929年10月24日のニューヨークのウォール街での株価暴落が世界恐慌の原因となった。

47. ②第1次護憲運動は、第3次桂太郎内閣時の1912年から翌年にかけて展開された。③大逆事件は第2次桂太郎内閣時の1910年におこった。④所得倍増計画は、1960年に組織された池田勇人内閣によって打ち出された。

48. ③敗戦直後に成立し、1945年10月に総辞職したのは東久邇宮稔彦内閣。①②④はいずれも昭和戦前期の内閣。

49. ②自由民主党は1955年に結成された。1947年から翌年にかけての片山哲内閣・芦田均内閣は、①日本社会党（片山内閣の首班）、④民主党（芦田内閣の首班）、③国民協同党の連立内閣。

50. ②ドッジのもとで、ドッジ＝ラインと呼ばれる経済政策が実施された。

【写真所蔵・提供】

胎内市教育委員会（2－問3）／

ColBase (<https://colbase.nich.go.jp>)（2－問10）